平成29年7月
令和２年5月更新
H29・30達成項目
H31達成項目

「大阪市ICT戦略」に沿った図書館の今後のあり方　アクションプラン

・「『大阪市ICT戦略』に沿った図書館の今後のあり方」に基づき、3年間に取り組む主な項目を挙げる
・技術の進展などを注視して随時見直しを行い、必要に応じて修正を行う

	平成29（2017）年度	平成30（2018）年度	平成31（2019）年度
1.　「ICTの徹底活用」５つの柱			
（1）情報インフラの活用（Wi-Fi、IoT等）	全館設置の公衆無線LANの市民周知 →11月全地域図書館に掲示設置	利用状況調査 →アンケート集計結果を図書館Webサイトに公開	令和2年度は現行どおりで継続実施
	公衆無線LAN利用状況調査 →3月に実施		
（2）積極的なデータ活用の推進（オープンデータ、ビッグデータ）	デジタルアーカイブ画像の追加 →217点を追加公開	継続実施 →7点をCC-BYで追加公開	CC-BYからCC0（シーシーゼロ）へ提供条件の変更 16点を追加公開
	デジタルアーカイブ画像メタデータのデータセット公開 →CC-BY画像分7,158件を公開	継続実施	
	図書リスト等のオープンデータ化 →「こどものほんだな」データセット171件を公開	継続実施 →「あなたにこの本を！」データセット279件を公開	継続実施 →「こどものほんだな」遡及分データセット公開
	メタデータの豊富化（地域名等の追加登録）とさらなる豊富化にむけた追加項目の検討	区名ほかキーワード追加 機種更新にむけた追加項目確定	近代建築に関するキーワード等、画像検索用のデータを追加 機種更新時に追加項目反映
（3）最新情報環境への適切な対応（モバイル・ファースト）	蔵書検索モバイル版の利用促進 →図書館活用講座での紹介、「ネットで図書館便利です」等の周知チラシの改訂	継続実施	
	機種更新に向けたホームページのモバイルファースト対応の仕様検討		モバイル対応実施
（4）施策における徹底活用 ・教育ICT	来館や貸出でポイントがたまる「としょかんポイント」の実施6～12月　7,605名参加	「としょかんポイント」の継続実施 →7月から12月　6,904名	「としょかんポイント」の継続実施 →6月から12月　10,556名
	児童・生徒が大阪の歴史や文化を調べるのに役立つブックリストの作成 →こども向けの調べかたガイド（各区版計24種）として作成	図書館Webサイトにて、こども向けの調べかたガイド（各区版計24種）を公開	提供継続、更新
	電子書籍サービスで提供している英文児童書のリスト作成	Webサイトでのリスト公開 電子図書館機能の活用事例を教員向け講座の中で紹介	英語学習に便利な電子書籍の紹介講座「LET'S　ENGLISH」の開催（7/16）
	「としょかんポイント」と連動したクイズ形式の図書館案内、資料紹介	「としょかんポイント」クイズで、こどものページ等を紹介	「としょかんポイント」クイズで、ティーンズ/書評漫才のページ等を紹介
	マルチメディアデイジー図書の提供、読書体験会や製作講習会等の開催 →読書体験会、ユニバーサルお話会の開催（8/19）	マルチメディアデイジー図書製作講習会（7/14,15）、マルチメディアデイジー図書 読書体験会＆ユニバーサルおはなし会開催（8/18）	マルチメディアデイジー図書製作講習会（9/21）、マルチメディアデイジー図書 読書体験会＆ユニバーサルおはなし会開催（7/28）
	「大阪市内の学校支援のページ」での、学校向けサービスやサポート情報発信充実	継続実施	
	「大阪市学校図書館活用推進事業のページ」での、学校図書館や読書活動の充実に向けた取り組み情報の発信	継続実施	
・防災	「震災関連ページ」の改訂	「震災の被災者支援情報について」にページ名称を改訂し、情報追加	継続実施
	大阪で過去に発生した災害について、デジタルアーカイブ画像等を活用した情報発信 →新規Webギャラリー作成準備	Webギャラリー「おおさか災害の記憶と防災の歩み」を公開 「災害・防災関連の取り組み」ページにてレファレンス事例を公開	継続実施
・市民協働の促進	活動中のボランティア向け講座情報等の情報発信の充実	継続実施	
	「Wikipedia Town」の開催方法検討・試行実施 →「Wikipedia Town」「エディタソン」開催（3/11）	継続実施 →12/15 Wikipedia ARTS 2/24 Wikipedia Town in東淀川	継続実施 →8/18 Wikipedia Town in東淀川 10/14　WikiGapエディタソン2019 in大阪
	API の提供など、「デジタルアーカイブ」リニューアルに向けた検討		「デジタルアーカイブ」リニューアル実施 APIの提供は継続検討課題
（5）効果的・効率的な行政運営 ・行政事務の改善	電子図書館機能の地域課題への活用事例紹介、職員向け情報収集・活用講座の実施等		
2.　ICTの適正利用 2つの柱			
（1）ICT経費の抑制	機種更新時のコスト削減に向けた、システム構成の見直し検討		機器調達および機種更新実施
（2）システムの安全性・信頼性の向上	研修・標的型攻撃メール訓練の実施／機種更新後のシステムでのセキュリティ強化の実施		